

NETIS登録番号:QS-110006-A

FAボックス



FAボックスの特長

FAボックスは、3分割されたプレキャスト部材と現場打ちコンクリートを併用した、大断面ボックスを構築する工法です。頂版、側壁を分割構造(セグメント化)することで、「斜角」への対応が容易となります。

コスト縮減

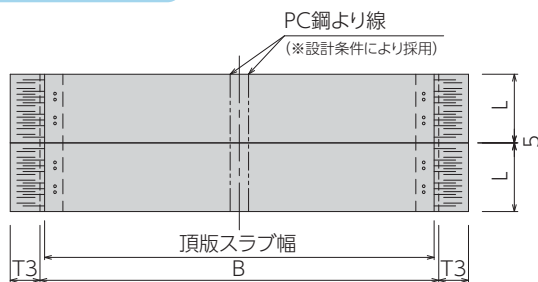
プレキャスト部材をスラブ構造とし、底版を現場打ちとしたことで経済性に優れた大型ボックスです。

工期短縮

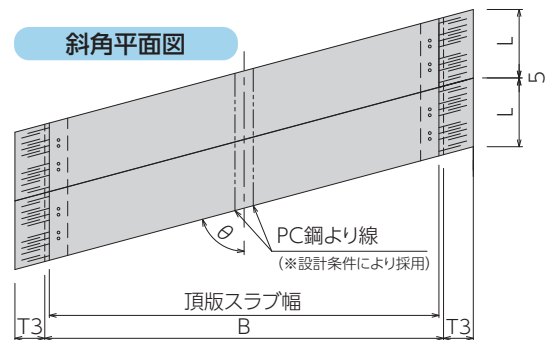
ループ継ぎ手を用いてプレキャスト部材を一体化するため施工が容易で工期短縮が図れます。PCaウイングウォールを併用すればより一層の工期短縮が可能です。

構造概要

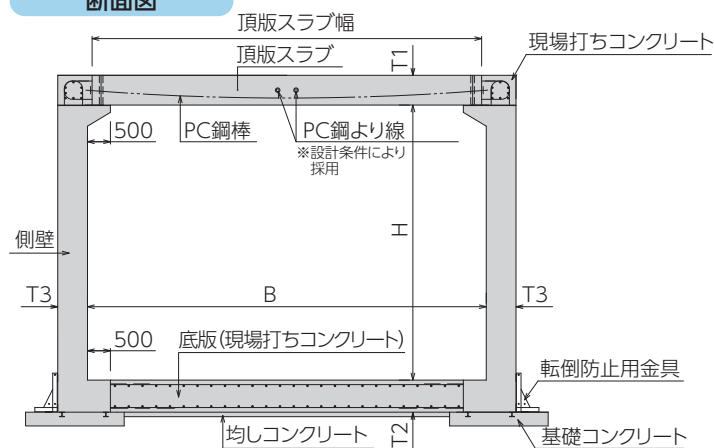
標準平面図



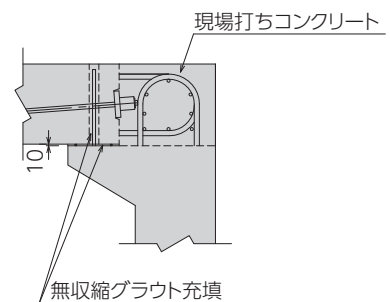
斜角平面図



断面図



隅角部構造



設計条件

活荷重	T-25
標準土被り	0~1.0m(1m以上は別途設計)
縦断勾配	10%程度
曲率半径	曲線配置対応可
斜角	60° ≤ θ ≤ 90° (θは5°ピッチが標準です)

カルバート寸法

内空幅B (mm)	5000 ~ 12000
内空高H (mm)	2000 ~ 7000
頂版厚T1 (mm)	300 ~ 750
底版厚T2 (mm)	300 ~ 1000
側壁厚T3 (mm)	300 ~ 750

プロダクトサマリー

インフォメーション

水路

道路

ます

景観

電線類
地中化製品

擁壁

補強土工

耐震性
貯水槽遊水池
ブロックテクスパン
工法スポーツ
ウォール

その他製品

会社案内

PCaウイングウォール

構造概要

1 技術開発の背景及び契機

近年、公共工事のコスト削減に伴い、経済性、工期短縮、施工性に優れた製品が求められています。

そこで、これまでの現場打ちコンクリートにて施工されてきましたウイングの工期短縮を図るためプレキャストウイングを開発しました。

2 技術の内容

FAボックスにプレキャストウイングをハンチ部のループ継手構造により一体化する工法です。

(注)PCaウイングウォールは、FAボックス以外の製品に取り付けることはできません。

3 技術の効果

特殊な技術を必要としないので施工性が良く、大幅な工期短縮が図れます。

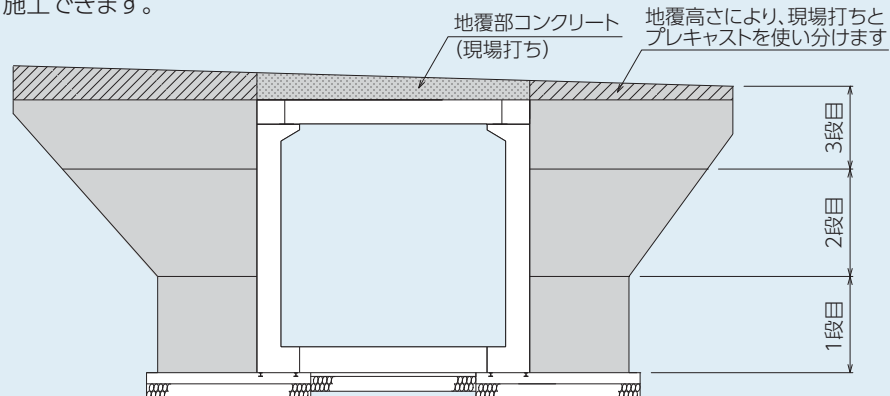
4 技術の適用範囲

- 張出し長さ8m、全体高さ8mまで、対応できます。
- 斜角ボックスにも対応できます。
- 「道路土工—カルバート工指針」に準拠しています。



道路縦断勾配に合わせて施工できます。

正面図



平面図

